

2017年(平成29年)3月期 決算発表



2017年5月18日

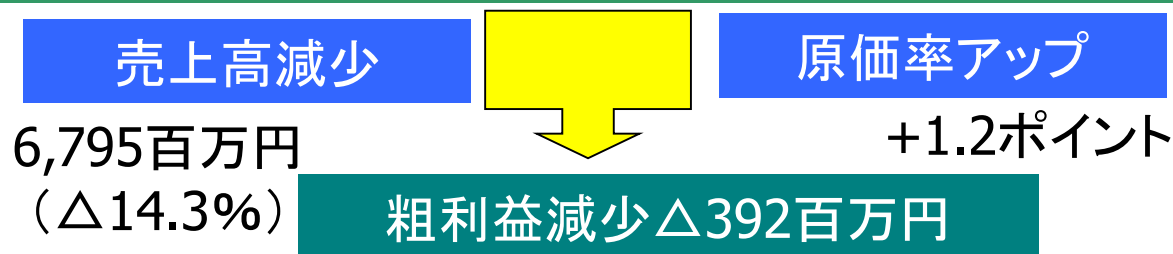
鉦研工業株式会社

決算の概要

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	16/3期	17/3期	増 減	16/3期	17/3期	増 減
受注高	8,000	7,291	△709	6,945	6,429	△515
売上高	7,931	6,795	△1,135	6,989	6,187	△801
営業利益	751	185	△565	648	185	△463
経常利益	739	197	△542	679	236	△443
当期純利益	840	298	△542	821	331	△489
	16/3期	17/3期	増 減	16/3期	17/3期	増 減
総資産	7,381	7,475	94	7,097	7,214	117
有利子負債	1,207	1,066	△140	1,207	1,066	△140
自己資本	3,342	3,564	222	3,239	3,500	260
(自己資本比率)	(45.3%)	(47.7%)	(+2.4 _p)	(45.7%)	(48.5%)	(+2.9 _p)

2017年3月期決算(連結)のポイント



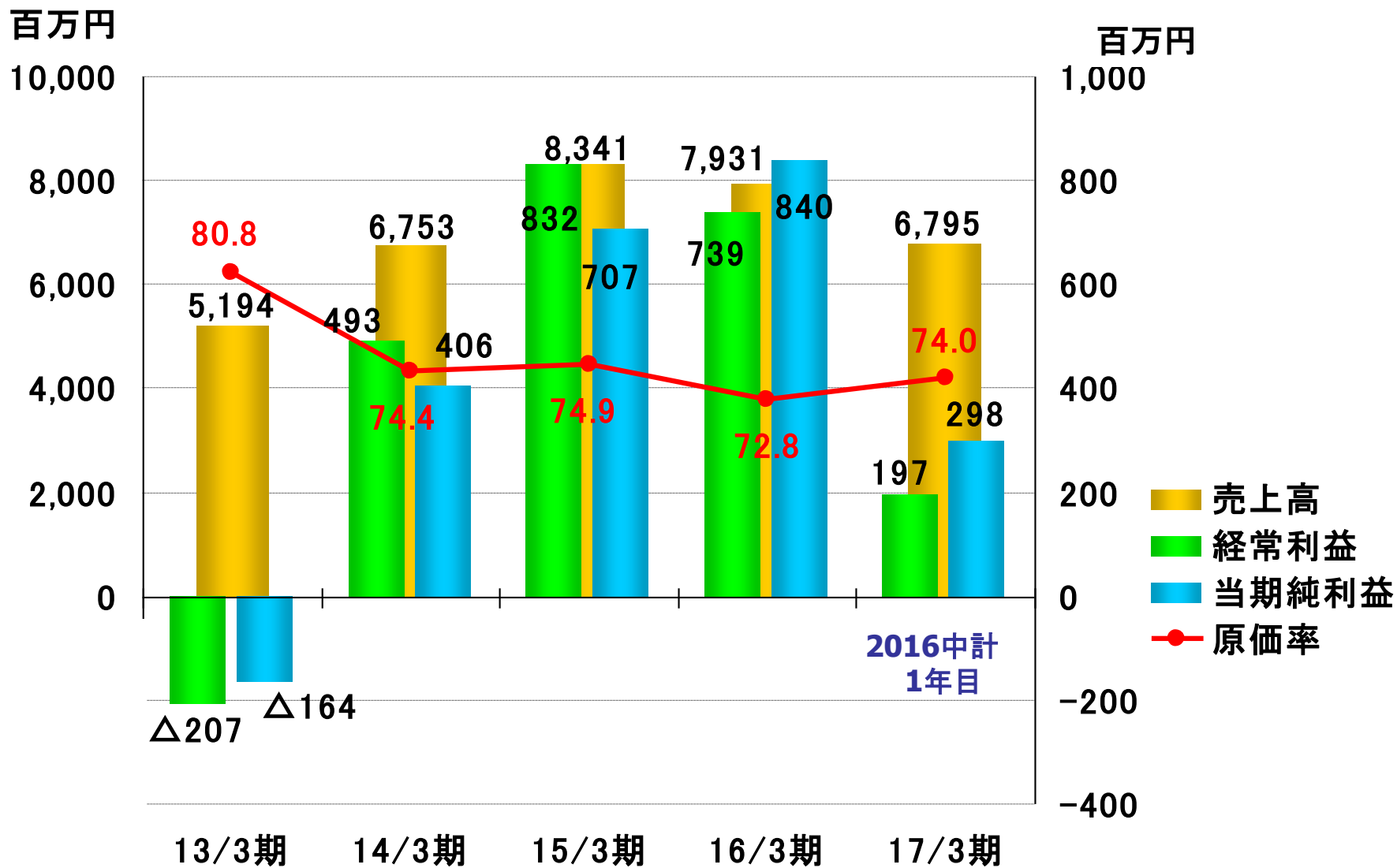
販管費173百万円増加(研究開発費等)

繰延税金資産141百万円計上

当期純利益298百万円

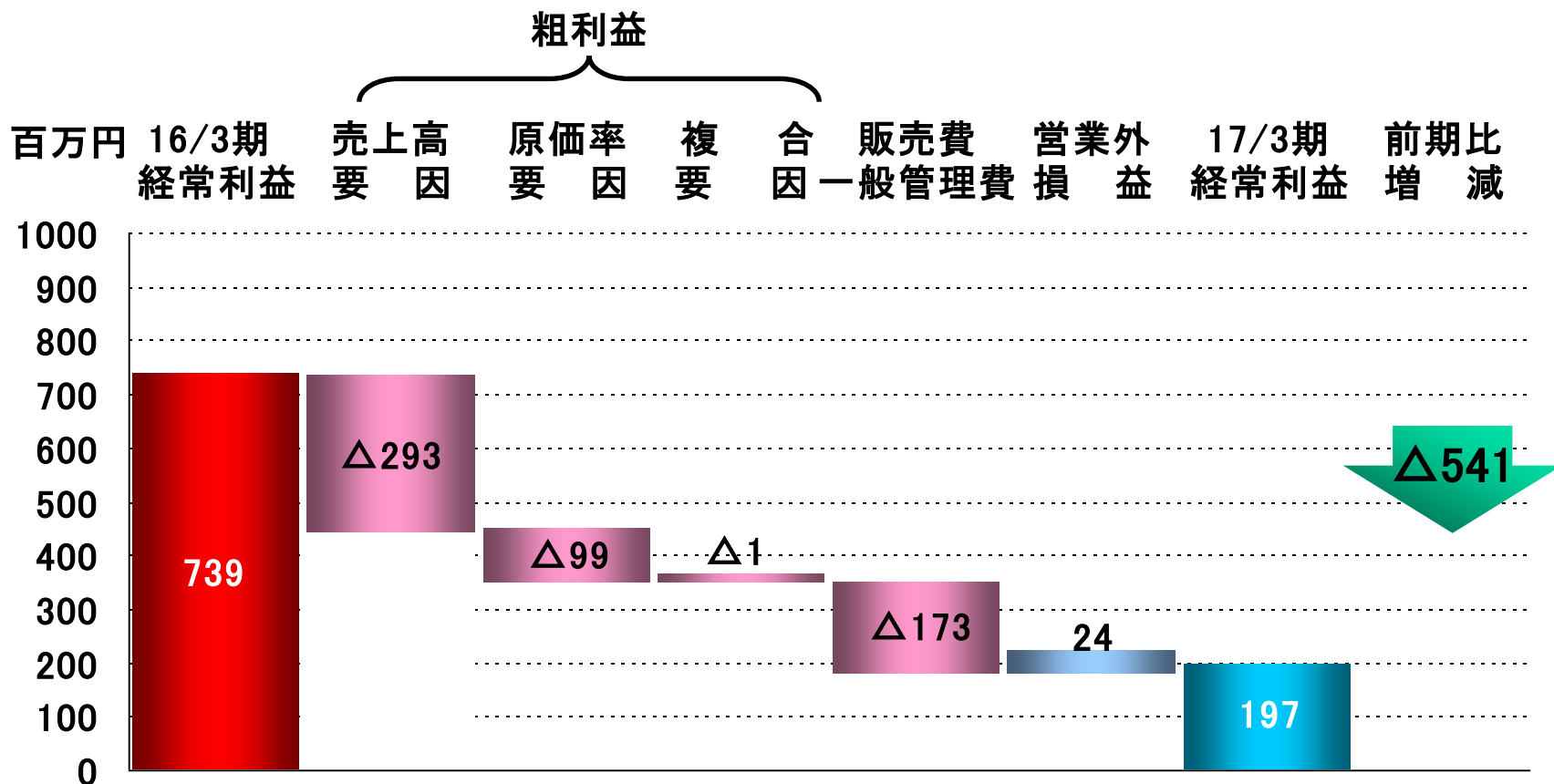
- ◆ 売上高は6,795百万円、前期比△1,135百万円減少
 ～ホーリング機器は国内売上増加するも海外案件減少により△216百万円減
 ～工事施工はトンネル先進調査工事量増加や大口径立坑掘削工事が完工するも大型アンカー工事ずれ込みと海外ODA工事減少により△919百万円減
- ◆ 原価率は74.0%、+1.2ポイント増加で粗利益減少△392百万円減
- ◆ 販管費は、人件費と研究開発費で増加(前期比173百万円増)
- ◆ 結果、営業利益185百万円、経常利益197百万円、会計基準改正による繰延税金資産141百万円計上により当期純利益は298百万円
- ◆ 営業キャッシュ・フローは51百万円の資金収入

売上高・利益の推移



前期との経常利益差異要因

- 粗利益は392百万円減少
 ~売上高減少(△1,135百万円)により△392百万円減益、
 原価率+1.2ポイントアップ(72.8⇒74.0%)により99百万円の減益
- 販売費及び一般管理は173百万円増加、営業外損益24百万円の収入はあるも、経常利益は197百万円で前期比△541百万円の減益



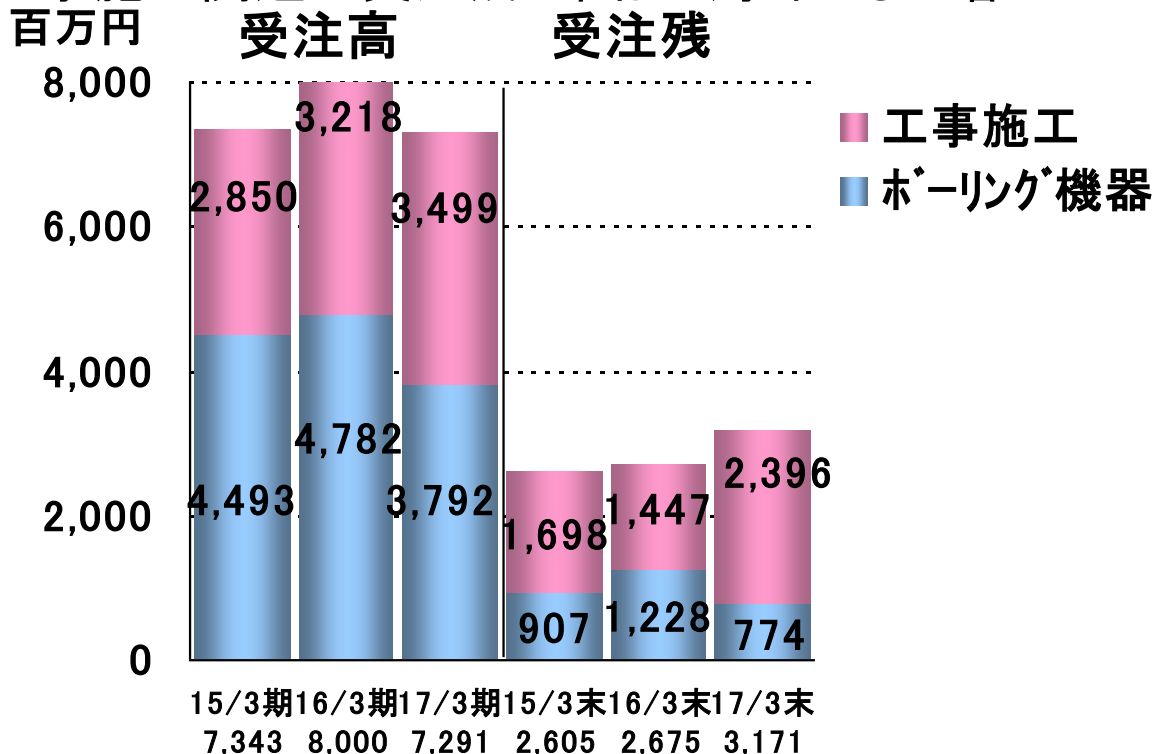
要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	16/3期	17/3期	前期比増減	
売上高	7,931	6,795	△1,135	△14.3%
売上原価 (原価率)	5,770 (72.8%)	5,027 (74.0%)	△743 (+1.2p)	△12.9%
売上総利益	2,160	1,768	△392	△18.2%
販売費管理費	1,409	1,582	173	12.3%
営業利益	751	185	△565	△75.3%
営業外損益	△11	11	23	△200.4%
経常利益	739	197	△542	△73.3%
特別損益	0	△1	△1	—
法人税住民税	46	38	△7	△16.5%
法人税等調整額	△151	△141	10	△6.6%
当期純利益	840	298	△542	△64.5%

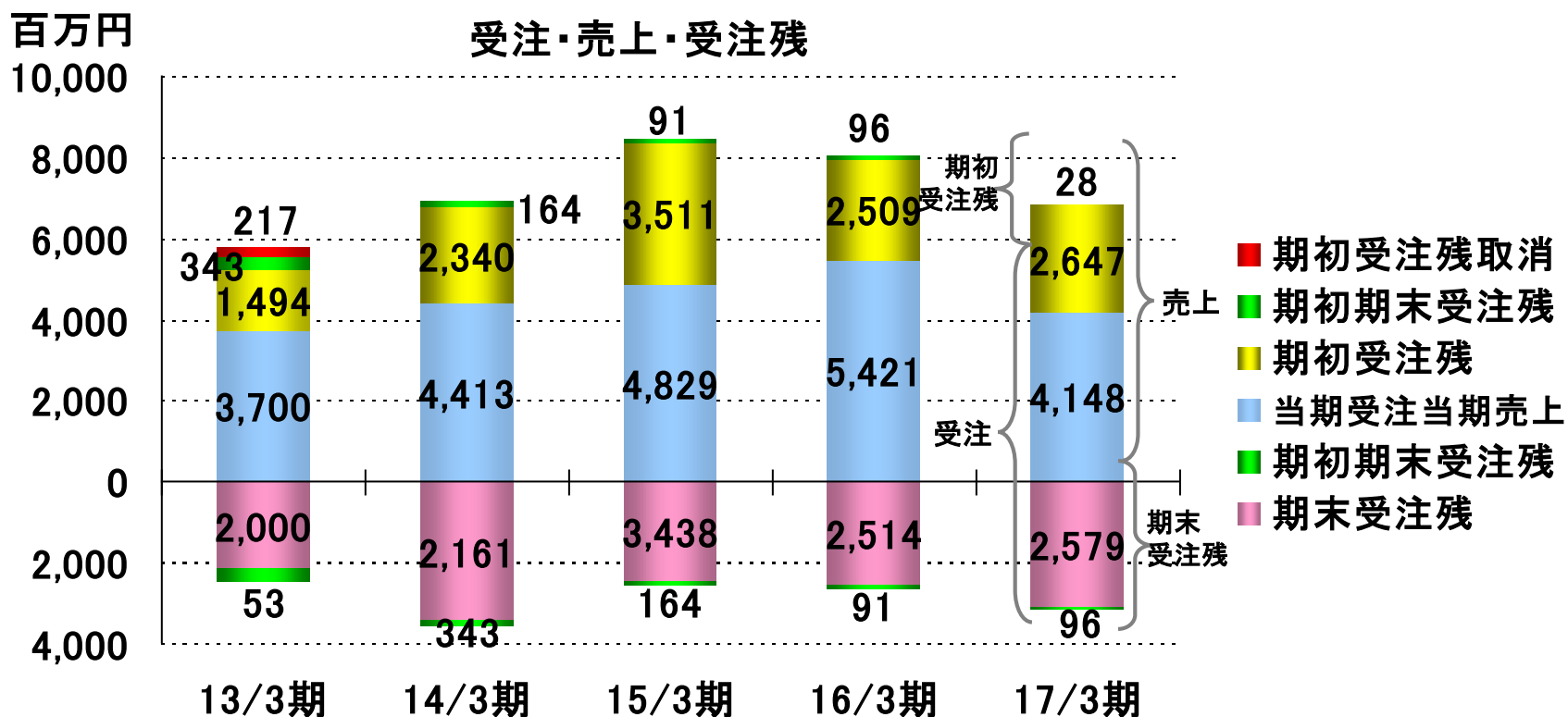
受注状況…受注高は前期比△8.9%減少

- 受注高は7,291百万円、前期比△709百万円減少
 - ～ ボーリング機器：△990百万円減…国内・海外(主に中国)ともにRPD機受注が減少
 - 工事施工：281百万円増…トンネル先進調査工事、長尺コントロール・ボーリング工事、温泉掘削工事、海外ODA水井戸工事案件等を受注
- 17/3末受注残は3,171百万円、前期末比496百万円増加
 - ～ 工事施工関連の受注残が国内・海外ともに増加

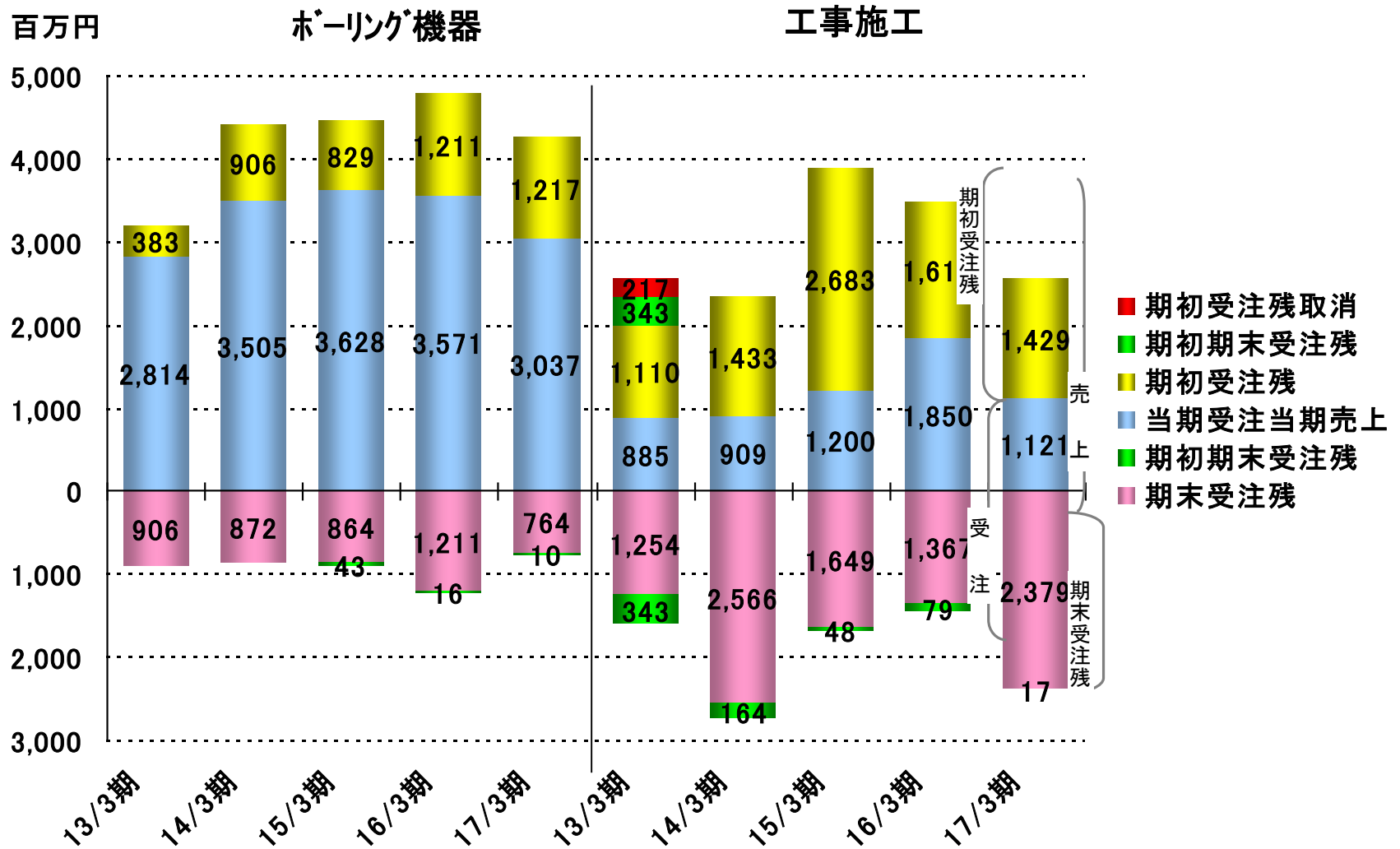


受注・売上・受注残

- 期初受注残2,675百万円のうち、2,647百万円が当期売上に寄与
～ 期中受注額7,291百万円のうち、4,148百万円が当期に売上計上
- 期末受注残は3,171百万円(前期比+496百万円)

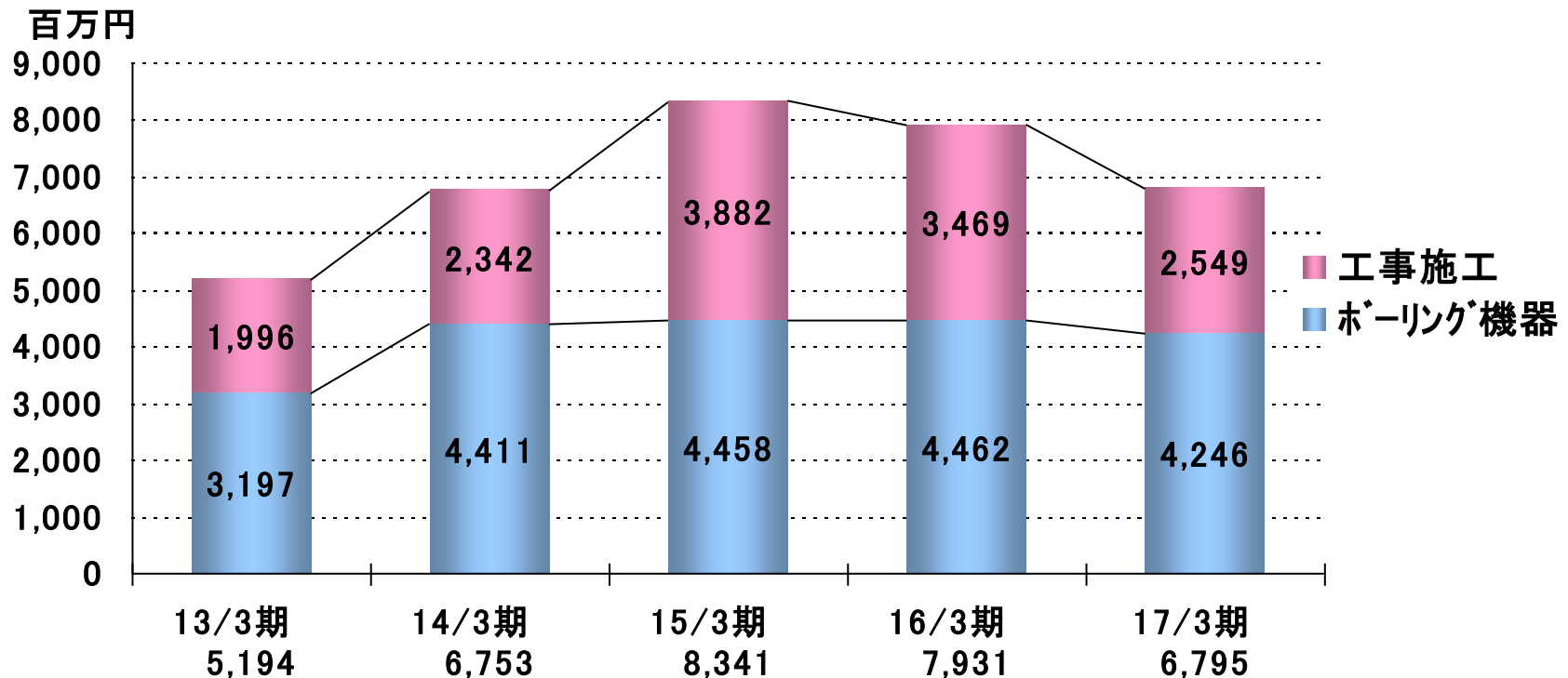


セグメント別受注・売上・受注残



売上高…前期比△1,135百万円(△14.3%)減少

- ホーリング機器4,246百万円、前期比△215百万円減
～ 国内の販売は増加したものの、主に中国向けの海外輸出が減ったため、売上高は減少
- 工事施工2,549百万円、前期比△920百万円減
～ 国内ではコントロールボーリング工事、アンカー工事が、海外工事ではODA水井戸工事の完工が減ったため売上高は減少



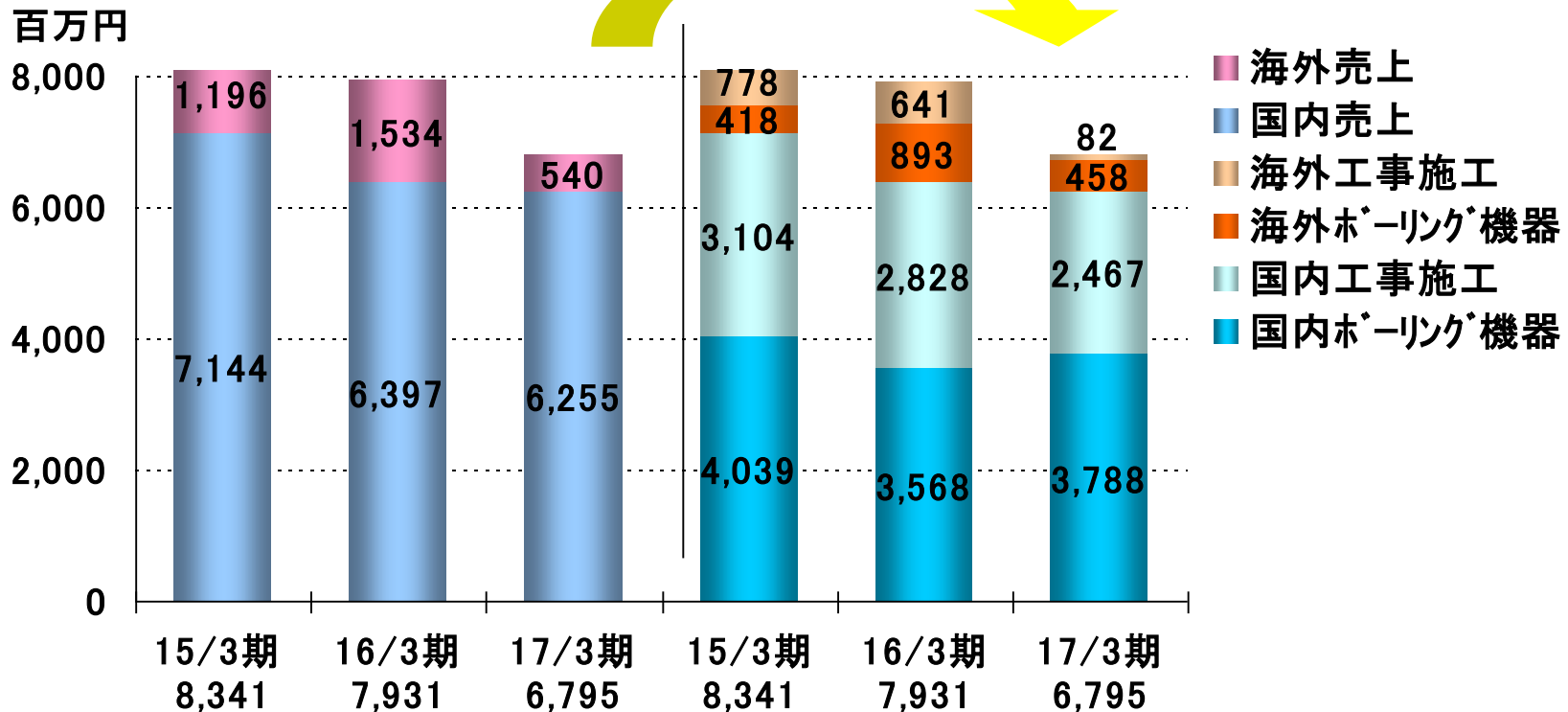
海外売上高…前期比64.8%減

□ 海外売上は前期比△993百万円減の540百万円

～ ホーリング機器は、主に中国向けが新規商談遅れにより低調であったため、前期比△434百万円減の458百万円。但し、ミャンマーにヤンゴン支店を開設し標準型ホーリングマシン・ツール等を販売するなど東南アジア地区市場開拓を促進中

～ 工事施工は、ブルキナファソ最終残ODA水井戸工事(Term3)が主であったため前期比△558百万円減の82百万円

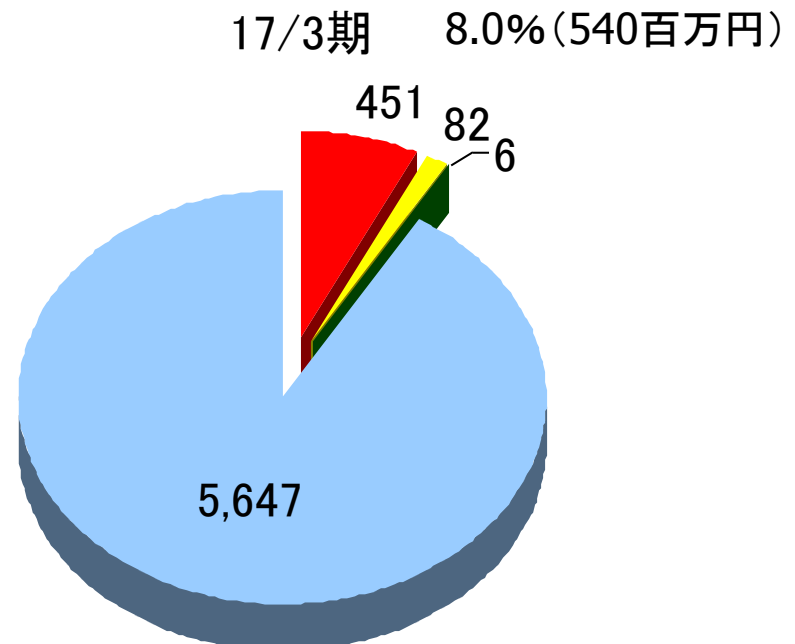
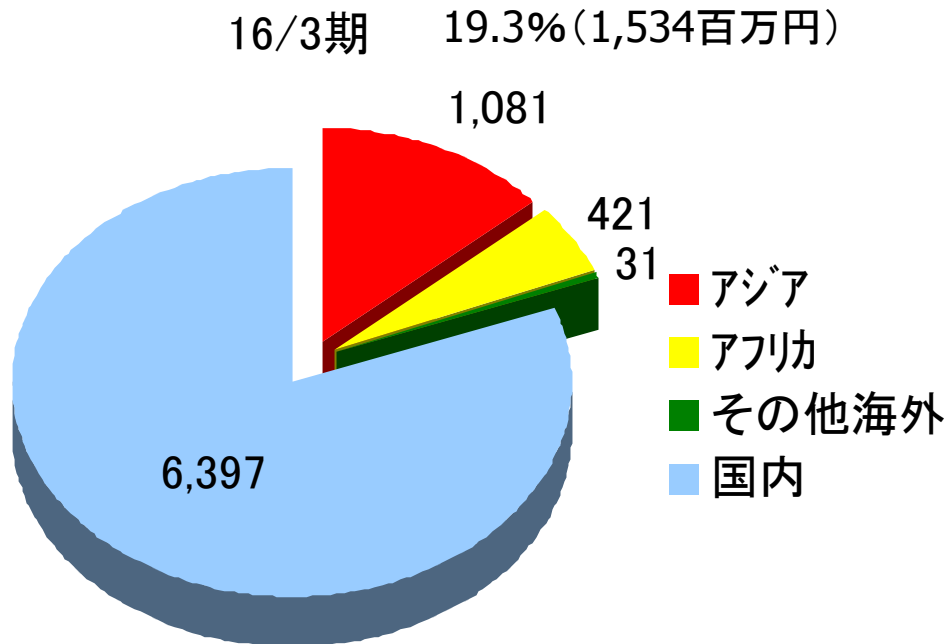
内訳



地域別売上高…海外売上比率8% (△11.3ポイント)

(17年3月期の主な輸出国)

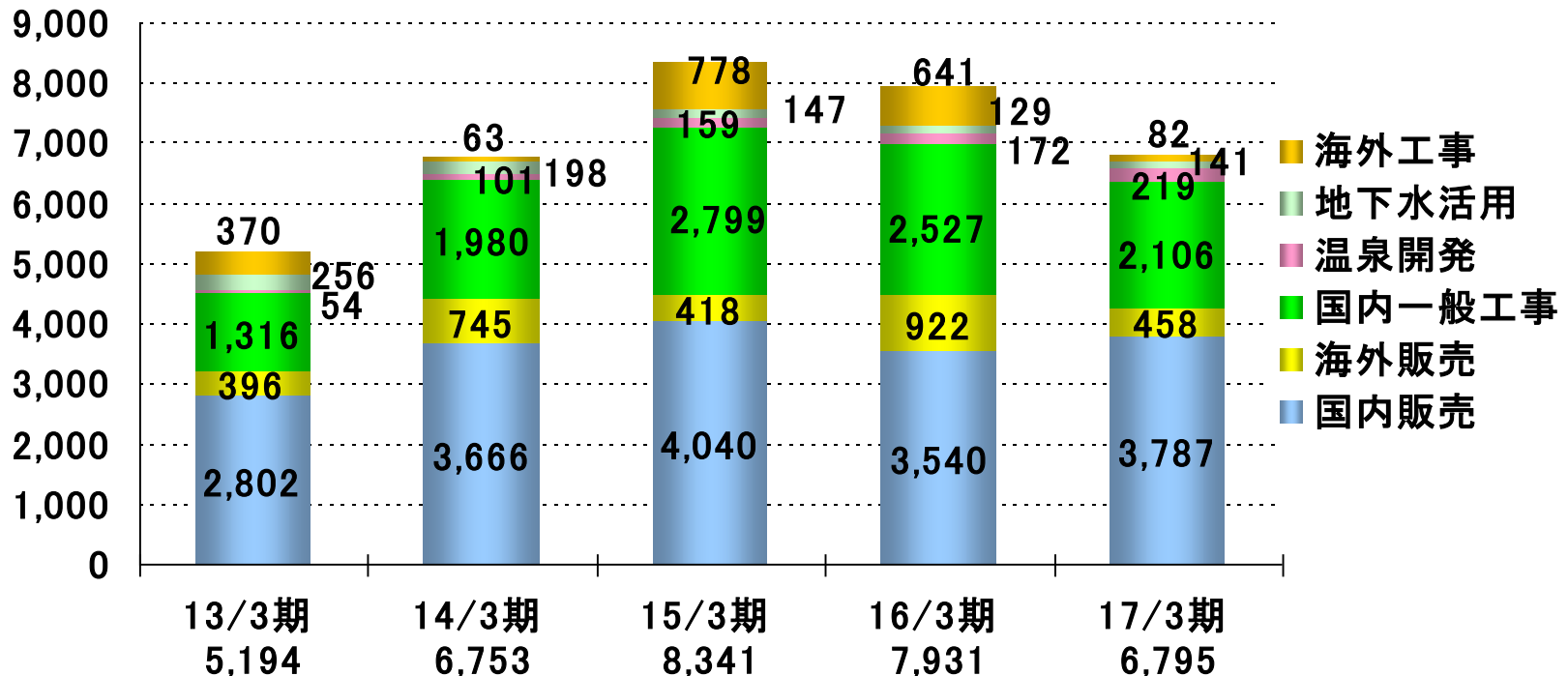
- アジア 中国、スリランカ、ミャンマー：ボーリングマシン及びツールス
台湾、シンガポール、マレーシア：ボーリングロッド及びツールス
- アフリカ ブルキナファソ：ODA水井戸工事
ザンビア：ODA水井戸工事
- その他 アメリカ、ロシア：ツールス



売上高の内訳

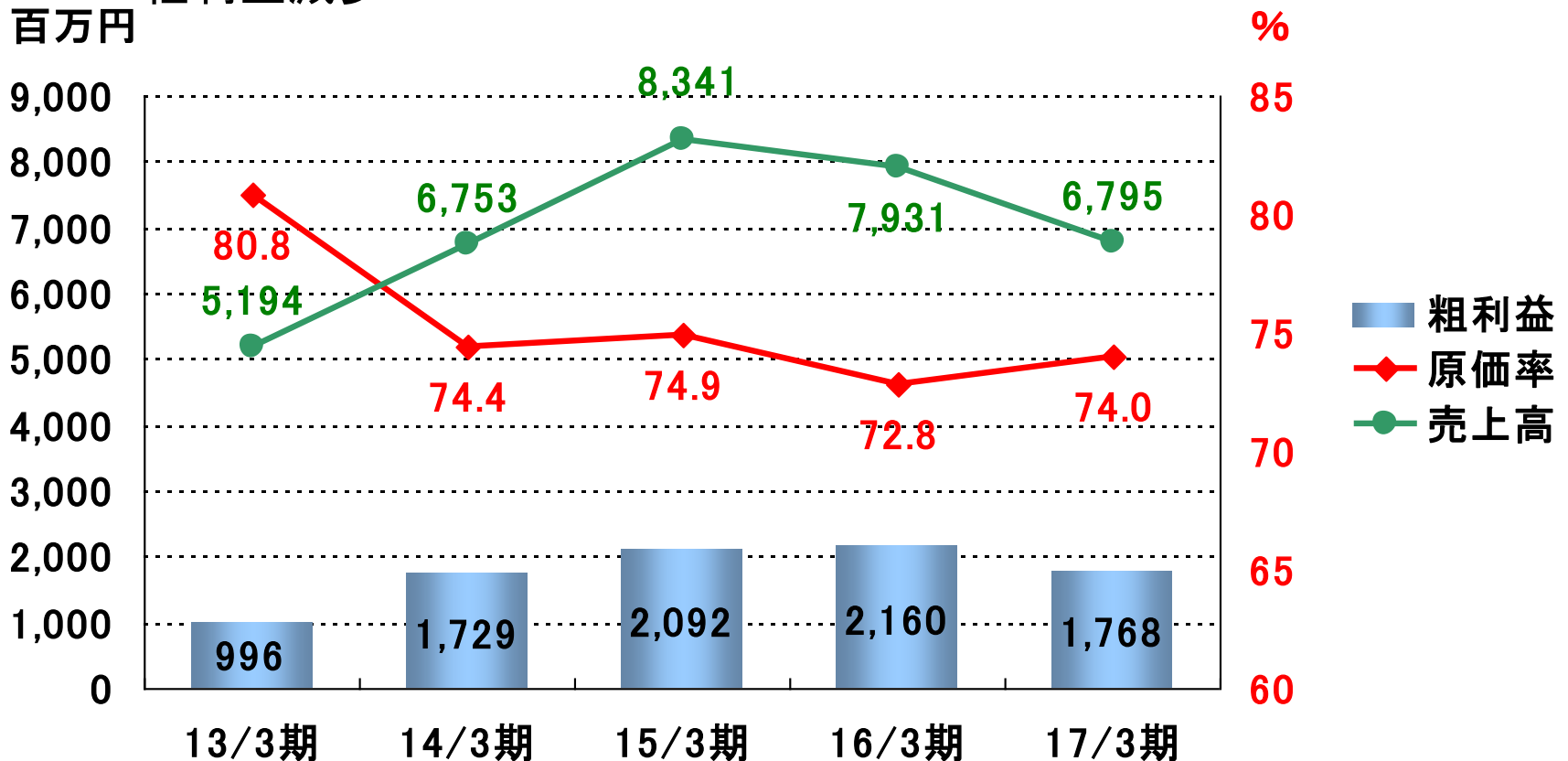
- ボーリング機器合計は、前期比△216百万円減少
～ 国内販売は増加するも、海外販売が大きく減少
- 工事施工合計は、前期比△919百万円減少
～ 地下水、温泉工事及びトンネル調査工事は増加するも、他の国内工事（大口径立坑掘削、コントロールボーリング、アンカー工事）が減少、海外ODA工事（ブルキナファソ）も3期の工事が完全終了

百万円



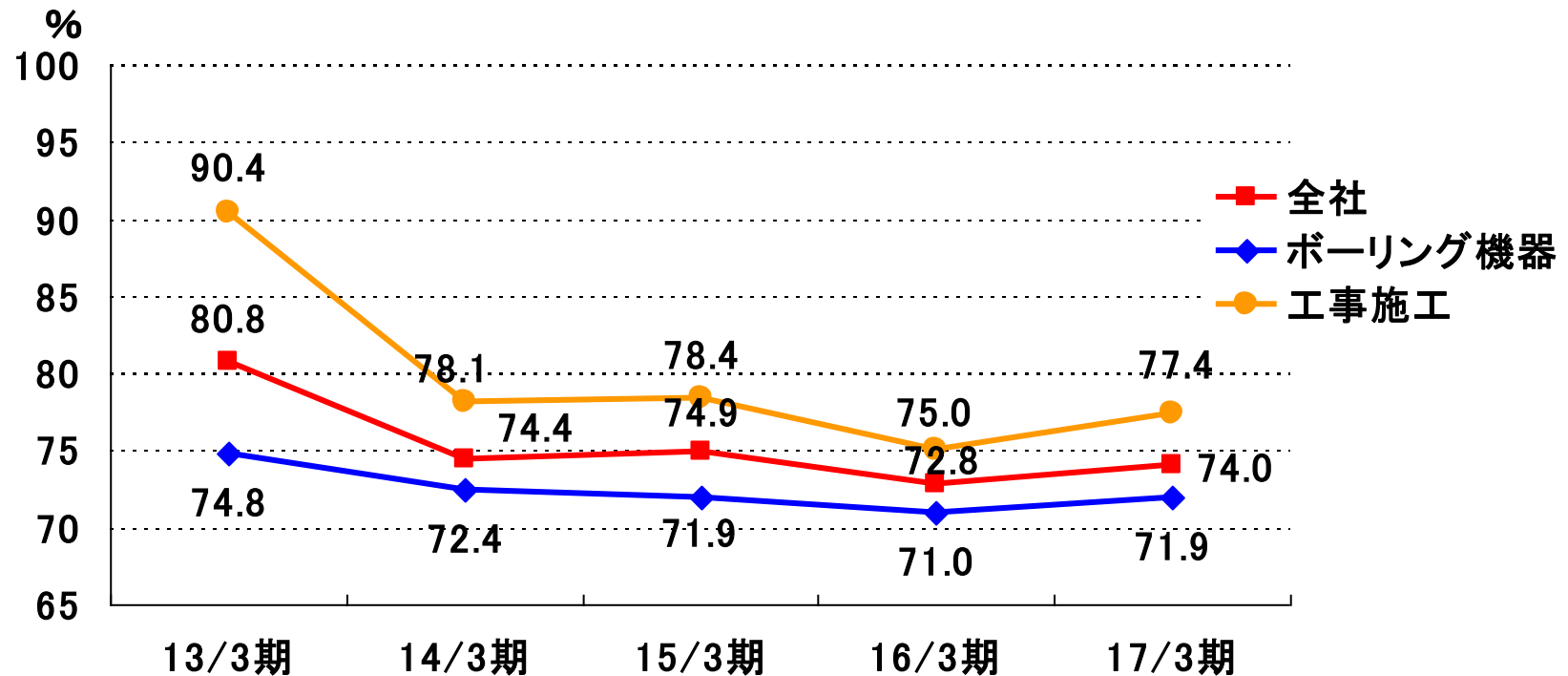
粗利益の推移・・・前期比18.2%減

- 粗利益は1,768百万円の前期比△392百万円減
 - ～ 売上高は減少(△1,135百万円)、原価率2.1ポイント増
 - ボーリング機器関連は売上高減少による固定費負担増
 - 工事施工関連も完工高減少、特に採算性の良い得意工種の減少による粗利益減少



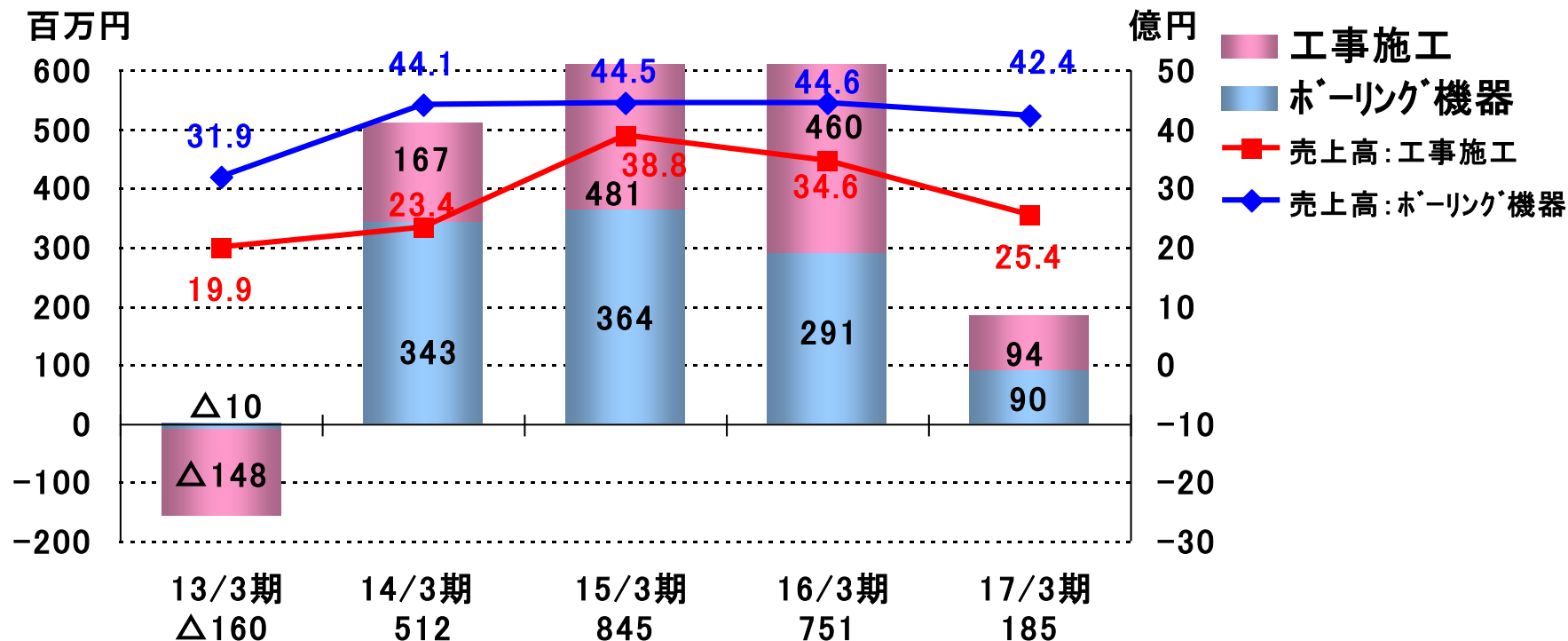
原価率の推移

- ボーリング機器の原価率は71.9%
～ 売上高減少により+0.9ポイントアップ
- 工事施工の原価率は77.4%
～ 完成工事原価率は国内得意大型工事の減少により+2.4ポイントアップ



セグメント(営業)利益

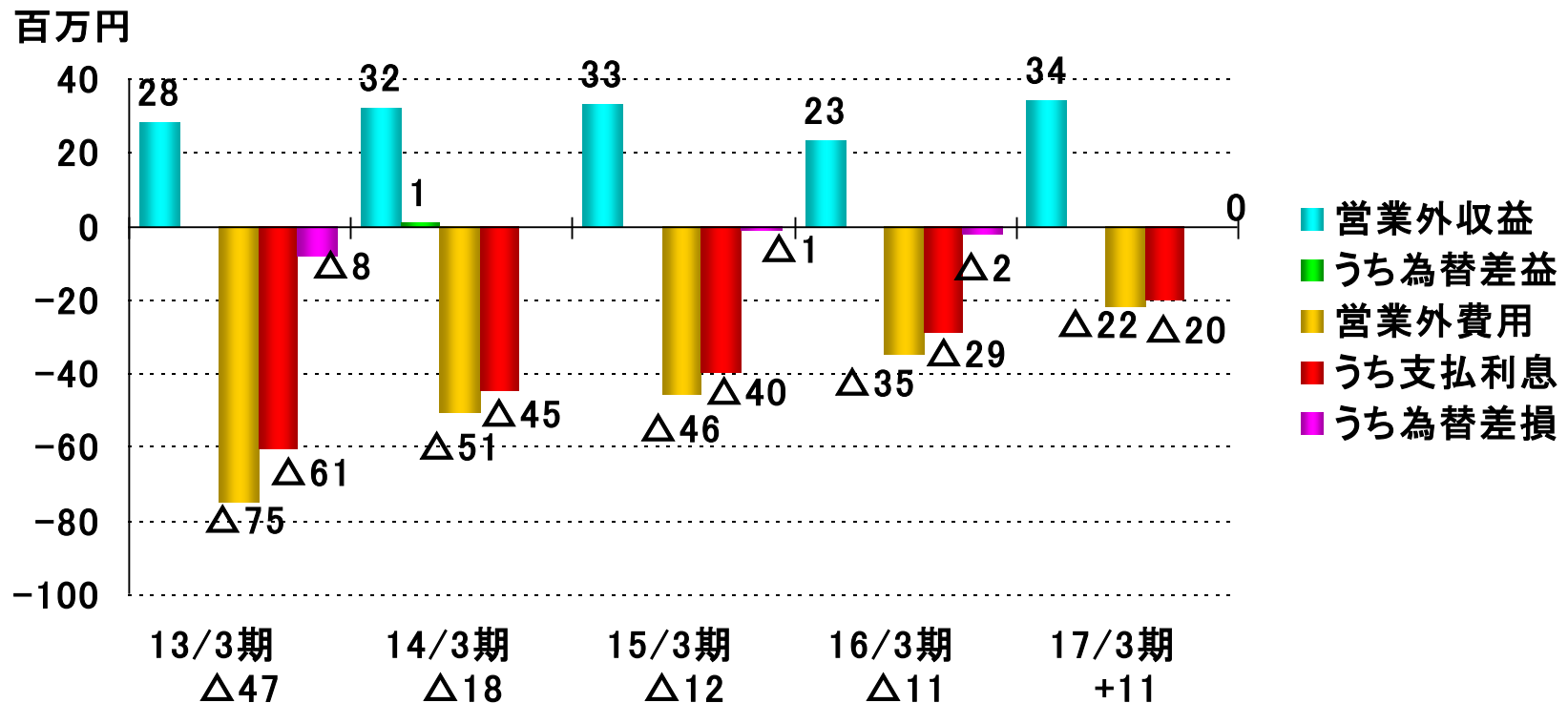
- ホーリング機器関連はセグメント利益90百万円
 ～ 売上高4,246百万円(△4.8%減)と人件費、研究開発費等増により前期比△200百万円の利益減
- 工事施工関連はセグメント利益94百万円
 ～ 長尺コントロール・ホーリング工事、大口径立坑掘削工事、トンネル先進調査工事などの完工により売上高2,549百万円(△26.5%減)となり、採算性の良い得意工事減少により前期比△366百万円の利益となる



営業外損益…NETで11百万円の収益

- 営業外収益は前期比10百万円増
 ～ 受取保険金21百万円、貸倒引当金戻入額1百万円
- 営業外費用は前期比△12百万円減
 ～ 有利子負債減少に伴い支払利息が△8百万円減少

海外案件は円建て取引が主な為、外国為替相場の変動による影響は軽微
 (為替差損0.1百万円)



連結貸借対照表の概要(資産)

- 総資産は7,475百万円、94百万円増
- 流動資産△29百万円減
 - ～ 棚卸資産449百万円増加も現金預金と売上債権で△456百万円減
- 固定資産は設備投資92百万円、減価償却103百万円だが、繰延税金資産の増加により123百万円増

(単位:百万円)

	16年3月末	17年3月末	増減
現金及び預金	986	727	△258
売上債権	2,330	2,132	△198
棚卸資産	2,121	2,570	449
その他流動資産	257	235	△22
流動資産計	5,695	5,666	△29
有形固定資産	1,549	1,523	△26
無形固定資産	23	29	6
投資その他資産	112	256	144
固定資産計	1,685	1,809	123
資産合計	7,381	7,475	94

連結貸借対照表の概要（負債・純資産）

- 負債は3,905百万円、△128百万円減
～ 有利子負債は1,066百万円、△140百万円減
- 17/3末自己資本は3,564百万円（非支配分除く）、自己資本比率47.7%

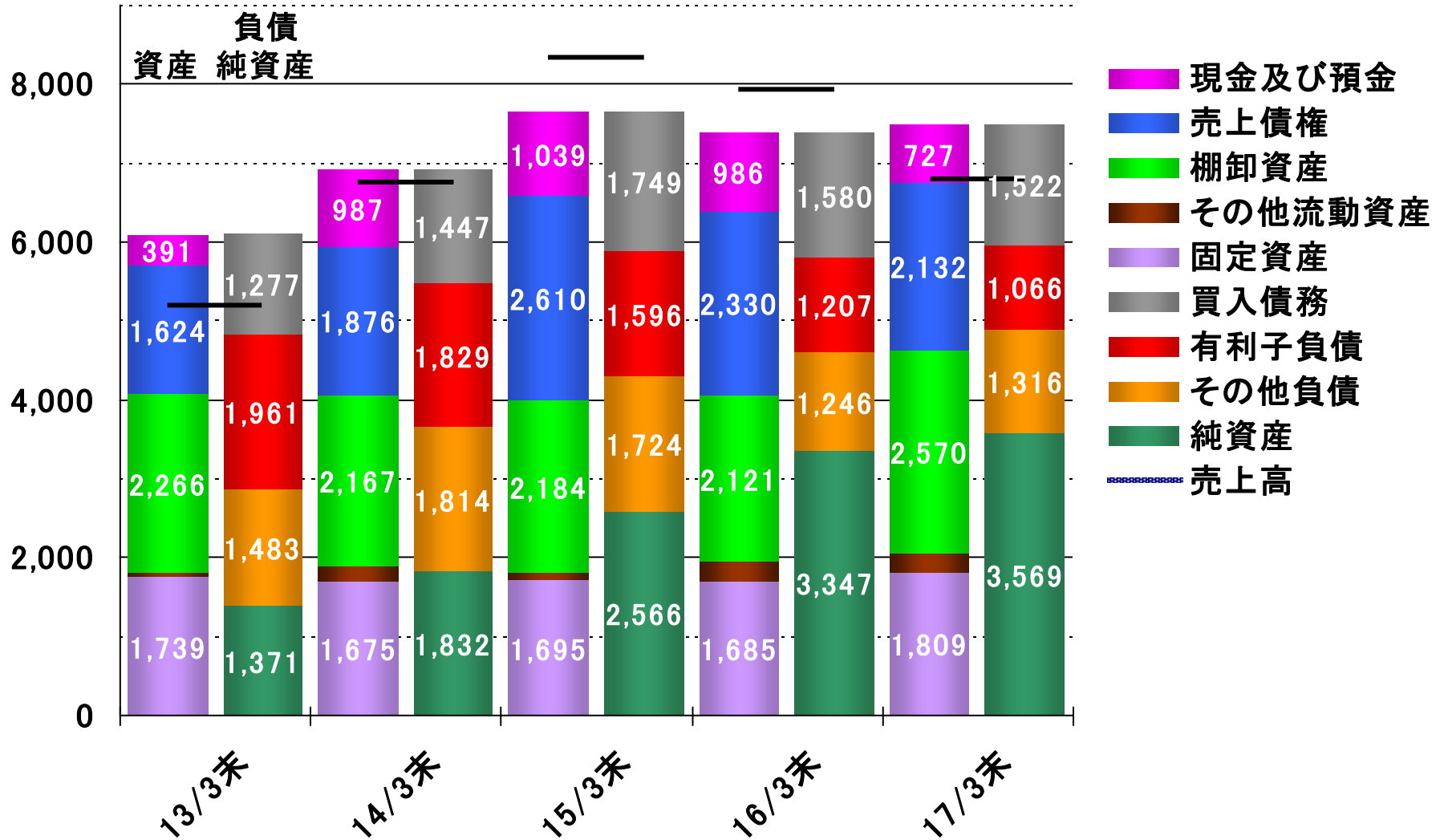
（単位：百万円）

	16年3月末	17年3月末	増減
買入債務	1,580	1,522	△57
短期借入金	618	582	△36
長期借入金	588	484	△103
その他	1,246	1,316	70
負債合計	4,034	3,905	△128
資本金	1,165	1,165	—
資本剰余金	0	0	0
利益剰余金他	2,034	2,260	226
その他包括利益他	147	144	△3
純資産合計	3,347	3,569	222
負債・純資産合計	7,381	7,475	94

連結貸借対照表…総資産回転率は0.91回

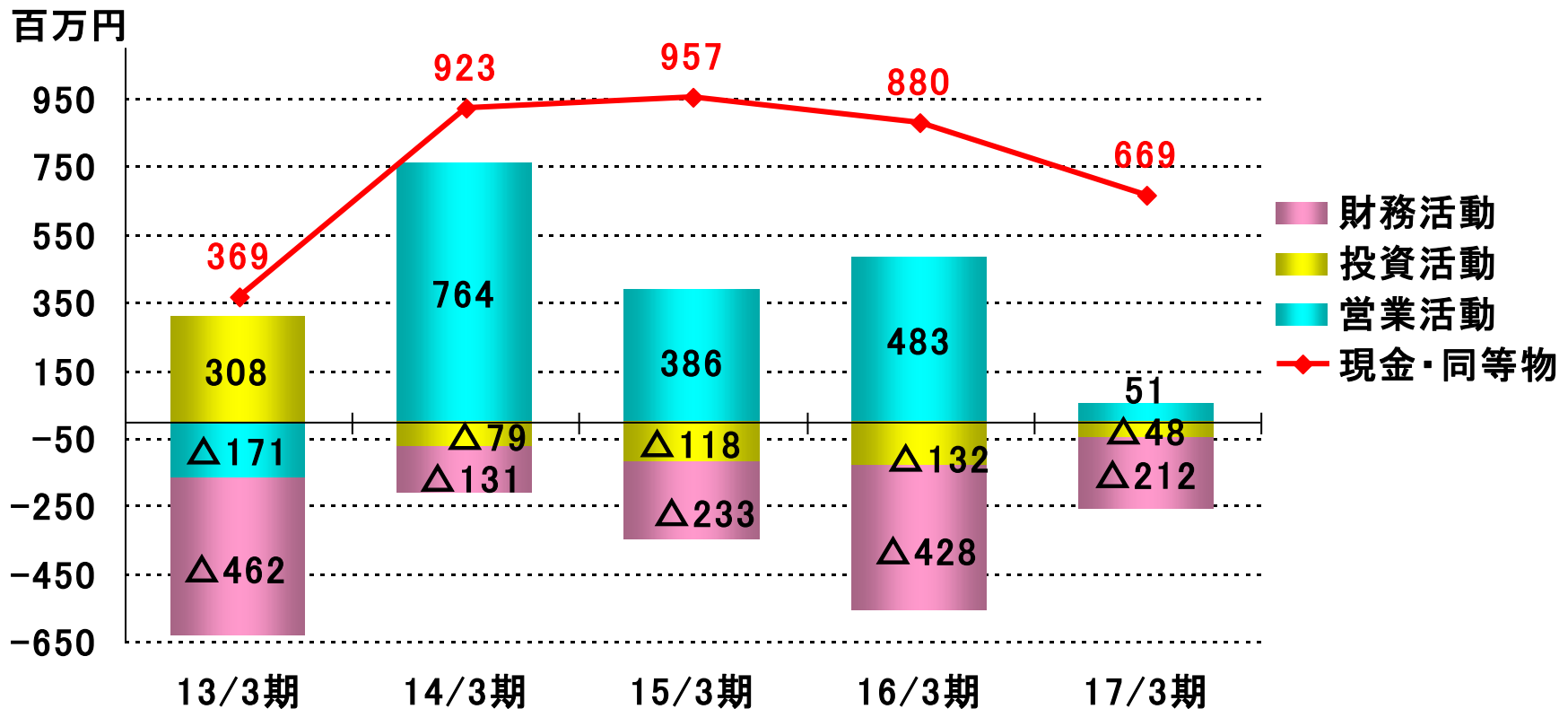
D/Eレシオ(負債資本倍率)は9.5%

百万円



キャッシュ・フロー(CF)

- 営業CFは51百万円の資金収入・・・税前利益と売上債権回収
- 投資CFは48百万円の資金支出・・・有形・無形固定資産取得94百万円
- (+2百万円のフリーキャッシュ・フロー)
- 財務CFは212百万円の資金支出・・・借入金返済、配当金支払い
- 現金及び現金同等物の期末残高は669百万円(前期末比210百万円減少)



2018年3月期連結業績見通し

- 「2016中期経営計画」(2年目)に沿い、引き続き営業・技術・工事一体の営業展開により新たな環境下でも、「売上拡大」と「高収益の維持」を達成する
 ～ 主力ボーリングマシン需要、独自の得意工法工事、再生エネルギー分野、温泉開発需要、リニア中央新幹線関連需要を捕捉及び東南アジア新興諸国攻略
- ボーリング機械のロボット化・新製品化等の新技術開発・試験研究を更に促進
- 創立70周年を迎え厚木工場のリニューアルを具体化
 ～ 増収増益見込だが、上記費用増にて当期純利益は455百万円を予想
 (単位:百万円)

	17年3月期	18年3月期	増 減	
売上高	6,795	8,800	2,005	29.5%
営業利益	185	620	435	235.1%
経常利益	197	620	423	214.7%
当期純利益	298	455	157	52.7%

注) 上記予想は、当社が2017年4月26日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

ご清聴ありがとうございました。

